

『励まし続ける言葉』 ～ 胆力の修養の場 ～

2025 年 9 月 7 日『ひばりヶ丘駅→池袋駅→新宿駅→甲府駅』に向かった。電車の中から【壮大な品格のある富士山(3776m)】と、外の風景(森林、畑け)を眺め 心が大いに慰められた。筆者は【富士山】には特別な思いがある。【筆者の誕生の年の母(1923 年 2 月 20 日～2019 年 6 月 3 日)の元旦の夢が『富士山』であり、幼児の時から『富士山子と呼ばれて』と母に励まされたものである。】『励まし続ける言葉』は、幼年時代のインプリンティング(刷り込み)で、生涯に影響を与えるものであることを実感する日々である。

『山梨ホスピス協会』理事長 阿部文明先生(山梨県立中央病院緩和ケア科医師)が、甲府駅に自家用車で、迎えに来てくださり、甲府市総合市民会館での【第 14 回がん哲学外来メディカルカフェ『風林火團』】(2017 年 7 月 5 日スタート)に到着した(添付)。筆者は、講演『言葉の処方箋』の機会が与えられた。

阿部文明先生は、2023 年 11 月 12 日 第 6 回『日本メディカルヴィレッジ学会 in 山梨 ～ 山梨の文化で支えあう がんの療養 ～』(会場:山梨県立大学池田キャンパス 共催:山梨ホスピス協会 日本メディカルヴィレッジ学会/後援:山梨県 山梨県教育委員会 山梨県医師会 山梨県看護協会 山梨県介護支援専門員協会 山梨日日新聞社 山梨放送 テレビ山梨 日本ネットワークサービス/助成:在宅医療助成 勇美記念財団)の大会長を務められた。筆者は、『日本メディカルヴィレッジ学会 理事長』として、山梨英和学院・山梨英和中学校高等学校の第 21 代校長を勤められた岩間孝吉先生の座長のもとで、講演『胆力の修養の場 ～ 新しい自分の発見 & 他人の理解が深まる ～』の機会が与えられた。

早速、主催者の中村由喜【みわたせない キリン 】氏から【樋野先生 今日は、残暑の中『がん哲学外来風林火團 第 14 回』が無事に開催できましたこと 御礼申し上げます。--- また是非 10 年の節目(来年)、お会いしたいと思います。】と心温まる励ましのメールを頂いた。大いに感動した。岩間孝吉先生からは、『明日をみつめて III』の原稿依頼された。【他人の苦痛に対する思いやりは、医学、医療の根本である】の復習の貴重な『甲府の旅』となった。

後援 一般社団法人がん哲学外来

第14回

がん哲学外来メディカルカフェ

「風林火團」開催

参加費無料

2025年9月7日（日） 開会：13時30分～15時30分

場所 甲府市総合市民会館



樋野興夫先生

「がん哲学外来」を開設
癌で不安を抱えた患者と家族を
対話を通して支援する個人面談
を続けている 医学博士

*マスクはご自身の判断でお願いいたします
会場は換気を行いながら開催します。
当日体調のすぐれない方は参加をお控えください

がんで、難病で、そして歳を重ね
大事な時間をどう過ごすのか
大事な人とどう過ごしたのか
生きぬくということ

今回のプログラム

- ①絵本の紹介
- ②がん哲学外来との出会い 語りから
- ③樋野先生からの「言葉の処方箋」
- ④語り合いましょう
- ⑤声を合わせ 歌をうたいましょう

主催・お問い合わせ NPO法人山梨ホスピス協会

yhospice@basil.ocn.ne.jp （メールでのお問い合わせにご協力ください）

事務局：甲府市青沼2-16-20「みんなの家青沼」 080-8450-2745